



## 安全データシート

この安全データシートは以下の要件に準拠している:  
JIS Z 7253:2019

発行日 2022-3-16  
改訂日 2023-3-23  
改訂番号 3

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 ThreeBond 1281B

#### 安全データシートの供給者の詳細

##### 供給者

スリーボンドファインケミカル株式会社  
〒252-0146 神奈川県相模原市緑区大山町1-1

##### 緊急連絡電話番号

042-703-7126 (SDSの内容に関するお問い合わせ)  
0120-56-1456 (商品の技術、SDSの請求に関するお問い合わせ)

#### 化学品の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 接着剤・シール剤

#### 使用上の制限

当該用途に使用することの妥当性・安全性について事前確認すること。推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと。本商品は工業用であり、家庭用および医療用インプラントへの使用は禁止する。

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

|                    |          |
|--------------------|----------|
| 急性毒性(経口)           | 分類できない   |
| 急性毒性(経皮)           | 分類できない   |
| 急性毒性(吸入) - ガス      | 区分に該当しない |
| 急性毒性(吸入) - 蒸気      | 分類できない   |
| 急性毒性(吸入) - 粉じん／ミスト | 分類できない   |
| 皮膚腐食性／刺激性          | 区分 2     |
| 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性   | 区分 1     |
| 呼吸器感作性             | 分類できない   |
| 皮膚感作性              | 区分 1B    |
| 生殖細胞変異原性           | 分類できない   |
| 発がん性               | 区分 1B    |
| 生殖毒性               | 区分 1A    |
| 授乳に対する又は授乳を介した影響   | あり       |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露)    | 区分 2     |
| 区分 2 中枢神経系。        |          |
| 特定標的臓器毒性(反復ばく露)    | 区分 2     |
| 区分 2 中枢神経系、腎臓。     |          |
| 誤えん有害性             | 分類できない   |
| 水生環境有害性 短期(急性)     | 区分 1     |
| 水生環境有害性 長期(慢性)     | 区分 1     |
| オゾン層への有害性          | 分類できない   |

#### GHSラベル要素











**眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性** 成分に対して利用可能なデータに基づく分類。薬傷を引き起こす。眼に重度の障害を与えるリスクがある。

**生殖細胞変異原性** 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。

**発がん性** 発がん性が知られている又は発がん性が疑われる物質を含んでいる。成分に対して利用可能なデータに基づく分類。発がんのおそれ。

以下に表が掲示される場合、本製品に含有される発がん性物質の情報を示している。表が掲示されない場合製品としてデータなし。

| 化学名又は一般名                 | 日本 | IARC    |
|--------------------------|----|---------|
| トルエン<br>108-88-3         | -  | Group 3 |
| メチルエチルケトンオキシム<br>96-29-7 | 2  | -       |

#### 凡例

国際がん研究機関

グループ3-ヒトに対する発がん性について分類できない

**生殖毒性** 生殖毒であることが知られている又は疑われる物質を含んでいる。成分に対して利用可能なデータに基づく分類。生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。授乳中の子に害を及ぼすおそれ。

**特定標的臓器毒性(単回ばく露)** 国又は地域で採用され、SDSが準拠している世界調和システム(GHS)の分類基準に基づき、この製品は急性のばく露に起因して全身標的臓器毒性を引き起こすと判定されている。臓器の障害のおそれ。

以下の臓器の障害のおそれ： 中枢神経系。

**特定標的臓器毒性(反復ばく露)** 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ。

長期にわたる、又は反復ばく露による以下の臓器の障害のおそれ： 中枢神経系、腎臓。

**誤えん有害性** 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。分類できない。

## 12. 環境影響情報

**生態毒性** 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

| 化学名又は一般名 | 藻類／水生植物   | 魚類   | 甲殻類  |
|----------|---|--|--|
| トルエン     | EC50: >433mg/L (96h, Pseudokirchneriella subcapitata)<br>EC50: =12.5mg/L (72h, Pseudokirchneriella subcapitata) | LC50: 15.22 – 19.05mg/L (96h, Pimephales promelas)<br>LC50: =12.6mg/L (96h, Pimephales promelas)<br>LC50: 5.89 – 7.81mg/L (96h, Oncorhynchus mykiss)<br>LC50: 14.1 – 17.16mg/L (96h, Oncorhynchus mykiss)<br>LC50: =5.8mg/L (96h, Oncorhynchus mykiss)<br>LC50: 11.0 – 15.0mg/L (96h, Lepomis macrochirus)<br>LC50: =54mg/L (96h, Oryzias latipes) | EC50: 5.46 – 9.83mg/L (48h, Daphnia magna)<br>EC50: =11.5mg/L (48h, Daphnia magna) |





#### 免責事項

このSDSは、JIS Z 7252:2019およびJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。この安全データシートに記載されている内容は、発行日時点の知見、情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、漏えい時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様ではありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。